



首都圏中央連絡自動車道

圏央道



①	⑤
②	⑥
首都圏中央連絡自動車道 圏央道	
③	⑦
④	⑧

表紙

- ① 圏央鶴ヶ島IC付近(埼玉県)
- ② 川越 菓子屋横丁(埼玉県)
- ③ 高尾山IC付近(東京都)
- ④ 横浜港 コンテナ船(神奈川県)
- ⑤ つくばエキスポセンター(茨城県)
- ⑥ 阿見東IC付近(茨城県)
- ⑦ 成田国際空港(千葉県) ©Tohan Aerialphotographic Service co.,Ltd. / JTB Photo
- ⑧ 圏央道とゴルフ場(千葉県)

■編集・発行

平成29年3月31日 発行

国土交通省 関東地方整備局道路部

〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館

電話：048(601)3151 FAX：048(600)1369

<http://www.ktr.mlit.go.jp>

圈央道

首都圏中央連絡自動車道

圏央道は、昭和60年度に八王子JCT～鶴ヶ島JCT間が事業化され、平成8年に青梅IC～鶴ヶ島JCT間が開通して以降、順次開通し、平成29年2月の境古河IC～つくば中央IC間の開通により9割が完成しました。

これを機に、整備状況や開通に伴う効果を取りまとめました。

引き続き、関係機関と連携を図り、地元の方々の理解と協力を得ながら、残る区間の早期完成に向け整備を進めてまいります。

目次

つながる地域、一体化する首都圏。—— 圏央道…… 4

圏央道のあゆみ…… 6

つながる放射道路、ネットワークの要。—— 圏央道…… 8

第1章 アクセス向上…… 11

進む高速道路ネットワークの活用…… 12

アクセス時間の短縮…… 14

第2章 物流と国際競争力…… 17

配送時間の短縮や定時性の確保で物流の生産性が向上…… 18

国際物流の玄関口と生産拠点を連結…… 20

[コラム]圏央道の経済効果(GDPの増加効果)は年間約3,000億円 寺島実郎氏…… 22

第3章 企業立地と雇用…… 23

企業立地が進む圏央道沿線…… 24

雇用の増加で地域活性化…… 26

第4章 観光資源の活用…… 29

広域的な観光交流…… 30

外国人観光客の周遊性の向上…… 32

第5章 防災と安全・環境…… 35

首都圏の防災力を強化…… 36

交通安全の向上…… 38

環境の保全と改善…… 40

設計諸元…… 43

建設の歴史…… 44

圏央道ランキング…… 48